

第4回がん哲学外来市民学会認定コーディネーター アドバンスコースプログラム

日 時: 2021年12月5日(日)13:00~16:00

会 場: Zoomによるオンライン研修

主 催: がん哲学外来市民学会

担当カフェ: 北陸地区がん哲学外来

定 員: 50名

参 加 費: 2,000円

募集締切 :10月31日(日)

【プログラム】(総合司会)金沢がん哲学外来事務局長・金沢大学公衆衛生在宅看護学准教授 岡本理恵

時間	項目	具体的内容
13:00~	開会挨拶	福井県済生会病院 副院長・集学的がん診療センター長 宗本 義則
13:10~	ガイダンス	ガイダンス内容: 認定コーディネーターの役割
		一般社団法人がん哲学外来・学会担当理事
		東海大学医学部血液・腫瘍内科教授 安藤 潔
13:30~	講義「生と死を考える」	講師: 金沢がん哲学外来代表
		金沢大学附属病院緩和ケアセンター長 山田 圭輔
14:00~	Zoomでのプレゼン3名 (1名10分以内)	プレゼン14:00-14:10、14:15-14:25、14:30-14:40 進行担当: 金沢がん哲学外来 事務局長 岡本理恵 プレゼンター 田附興風会医学研究所 北野病院緩和ケア科 梶山 徹 佐久総合病院 地域ケア科 北澤彰浩 神戸薬科大学 総合教育研究センター 横山 郁子
14:45~	ブレイクアウトルームの説明	担当 岡本理恵
15:00~	Zoomを使つての意見交換会 (自分の感じたことを述べる)	グループワーク :1グループ6名として、各グループにファシリテーターを依頼する。 ファシリテーターには山田先生、宗本先生、横山先生、車屋さん他
		特記 進行担当者(ファシリテーター)のもと意見交換を行う。 各人は後日指定の方法でレポートを提出。 レポートのテーマ: 生老病死について深く考えさせられた書籍、映画、詩、芸術、自分の経験などを1つ選び、人は苦境の中をいかに生きることができるか、どのような支援ができるかに関して800字前後でまとめる(最大で1200字まで)
15:40~	Webでの記念写真	
15:45~	研修会講評	一般社団法人がん哲学外来 理事長・がん哲学外来市民学会 代表 樋野 興夫
15:55~	閉会挨拶	次期担当カフェから挨拶

■重要なお知らせ

- ※1、参加費はがん哲学外来市民学会の指定口座に振り込みを締切日11月10日(水)厳守でお願いします。
- ※2、開会挨拶からZoomでのプレゼンまでは記録用として録画いたします。
また、Webでの記念写真も記録用として予定しておりますので、併せてご了承ください。
- ※3、ブレイクアウトルームでファシリテーター担当する方は11月中に実施する事前打ち合わせにご参加をお願いします。
- ※4、各自のレポートは後日、所定の方法(電子データとして)で送信頂きます。なお、提出されたレポートは返却いたしません。
レポート公表について: 優秀作品についてはWeb掲載をする場合がありますので、ご了承ください。